



にじ はし 虹のかけ橋

令和7年8月25日

第10号

文責 校長

学校が再開しました！

33日間の夏休みが終わり、今日から学校生活が再開しました。子どもたちの元気な声が校内に響き渡っています。

夏休み中は、気温の高い日が続き熱中症も大いに心配されましたが、命に関わるような大きな事故もなく、子どもたちは充実した夏休みを過ごすことができましたようです。夏休み前集会で子どもたちに話をした「自分の命は自分で守る」を実践してくれたこと、そしてご家庭での声かけや見守りのおかげとっております。保護者や地域の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

子どもたちはそれぞれの学級で夏休みの思い出を発表したり、自由研究や工作を展示したりしながら、夏休みの成果を振り返っています。夏休み明けの1週間は、事故が起こりやすい時期だと言われています。交通事故には十分に気を付けるとともに、学校生活のリズムを取り戻すことができるよう指導に努めてまいります。

暑い日がまだまだ続きそうです

8月も終わりに近付いてきていますが、暑い日が続いています。引き続き、「水分補給のための水筒」「汗拭き用のタオル」の他、日差しから身を守るための「帽子の着用」をお願いします。本校では昨年度に引き続き、環境省指定の暑さ指数（右資料参照）に基づき、気温の高い日等、熱中症の危険が予想される場合には、体育の授業や外遊びなどを中止しておりますことをご承知おきください。

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

子どもたちの活躍

☆野球スポーツ少年団由利大会由利ライオンズクラブ杯

準優勝 大内野球スポーツ少年団

☆日韓児童交流絵画コンテスト

入賞者 2年 田* ** 3年 佐** **
 5年 堀 ** 6年 佐** **

☆第17回由利本荘市少年サッカーフェスティバル U-10の部（3位リーグ）

優 勝 本荘南FCSS 4年 熊* **、今* **、澤* **

イチローさん「継続こそが達成の土台」

下に紹介するのは、今年、日本人選手として初めてアメリカ野球の殿堂入りを果たしたイチローさんが、表彰式典で語ったスピーチの一部です。

日々の積み重ねを大切にしてきた姿や、「夢」を「ゴール（目標）」に変えて努力を続けた生き方から、目標に向かって努力することの尊さを感じ取ることができる内容です。

今日行ったオンラインによる夏休み明け集会で、スピーチの内容を紹介しました。

（前略）

19シーズン、毎日細かなことに注意を払い続けたからこそ、記録を残すことができました。私は自分の道具を毎日自分で手入れをしました。グラブのひもが緩んでミスをすることも、スパイクが汚れていてベースで滑ることも避けたかったからです。オフシーズンでさえ、私のルーティンは厳格でした。

（中略）

努力に限界はありません。私を見てください。身長1メートル80、体重77キロ。アメリカに来た時、多くの人が「メジャーリーグの大きな選手たちと戦うには痩せすぎだ」と言いました。でも、準備を信じていれば、たとえ自分自身の疑念であっても乗り越えられると信じていました。

「チームのためにできる基本的なことは何か？」と聞かれたら、私は「自分自身に責任を持つこと」と答えます。

子供の頃、将来の夢はプロ野球選手になることでした。6年生の時にその夢について作文も書きました。今、当時の自分に向けて書き直せるなら、「夢」という言葉ではなく「ゴール（目標）」と書きます。夢はいつも現実的とは限りません。でもゴールは、たどり着く方法をよく考えれば実現可能です。

夢を見ることは誰にでもできます。でも、ゴールを持つことは困難で、挑戦が伴います。ただ「やりたい」と言うだけでは足りません。本気で何かを達成したいなら、それを実現するために何が必要かを、真剣に考えなければなりません。私は、プロの選手として鍛えられるには、日々の練習と準備が大切だと書きました。ゴールを持ち続ける中で、「継続こそが達成の土台になる」ということも理解しました。

若い選手たちには、ぜひ大きな夢を持ってほしい。でも、「夢」と「ゴール」は違うということを理解してほしいのです。夢をゴールに変えるには、「何がそれを実現するために必要なのか」を正直に考えなければなりません。

（後略）

「出典：スポーツニッポン（スポニチ アネックス）」

イチローさんの紹介

○出身とデビュー

- ・イチローさんは日本で野球を始め、オリックス・ブルーウェーブという日本のプロチームで活躍
- ・2001年、27歳でアメリカのメジャーリーグ「シアトル・マリナーズ」でデビューし、日本の野手として初めてアメリカで活躍

○すごい記録と賞

- ・初年度で「新人王」と「最優秀選手（MVP）」を同時に受賞
- ・2004年にはシーズン最多ヒット記録（262本）を樹立
- ・10年連続で200本以上のヒット
- ・ゴールドグラブ賞（守備の優秀賞）を10回も受賞、オールスターに10回選出
- ・日本とアメリカ両方のプロ野球で、合計4,367本ものヒットを記録、この数は世界一